

万

三年 画数 一 万
筆順 一 万
オ 万
ク 万
マン・バン

成り立ち



水の上にかぶ「うき草」の形をあらわした字です。たくさん水の上にかんでいきますので、「数えきれないほどたくさん」といういみをあらわす字としてつかわれるようになりまし

それで、多い数の「たない」である「千の十倍」の数をあらわす字としてつかわれるようになりました。例 一万円、十万人、万一。

また、「すべて」といういみにもつかわれます。例 万物、万金、万全、万国、万難。

さらに、「いろいろ」といういみにもつかいます。例 万病、万感。

〔マンは呉音、バンは漢音〕

使い方

▽ばくは毎日おこづかいをもらいますが、つかわないで貯金しています。一万円になったら、買いたいものがあるからです。

▽たのしいうんどう会もおわかりました。さいごに、万国旗の下で「万歳」を三唱しました。

熟語例

▽万歳（歳は年と同じいみ。「二万年」といういみのことばで、「いつまでも生きさかえる」といういみをこめて唱えることばです。）

▽万一（「万に一つのわりあい」といういみのことばで、「めったにないことだが、もしもあつたばあいには」といういみにつかいます。例 万一のばあいにそなえて消火器をおく。）

▽万物（すべての物。あらゆる物）

▽万国（すべての国。あらゆる国々）

▽万全（すべて完全であり、安全であること。どんなばあいにもそなえて全くしんばいがないこと。）

▽万病（いろいろな病気）

▽万感（いろいろな思い）

使い方

▽透明な水のそこに、小石がキラキラとかがやいてみえました。

▽子どもたちがあくるくよみちを、お月さまが明るくてらしてました。

▽女の子は、おいしいおかしをもらったので、うれしくて、パツと明るいほほえみをうかべました。

熟語例

▽明月（明るくすみわたった、まんげつ。名月とかいっても、だいたいおなじいみです。）

▽透明（透きとおつて、よく見えること。）

▽明朗（ひとがらなどが、明るく朗らかなこと。また、うそやごまかしがないこと。「明朗なぐらし」などとい

います。）

▽聡明（あたまがよくて、ものごとがよくわかること。「聡」は耳がよく聞こえること、「明」は日がよくみえることをいいます。）

▽失明（目がみえなくなること。）

▽明日（「あす」ともよみます。あした・あくる日）

▽明後日（あさつて。明日のつぎの日）

明

三年 画数 8
筆順 日 明明
オン メイ・ミヨウ
クン あじかり・あかりのいりるむらむらあひけるくくくくる日かすあきらかに

成り立ち



ひるを明るくてらす「お日さま」と、よるを明るくてらす「お月さま」とをならべて、「あかるい」といういみをあらわした字です。

くらいよるから、明るいあさになることを「よが明ける」といいます。よが明けて、つぎの日がはじまるので「つぎの日」のことを「明くる日」といいます。

〔この字には、四と月との会意字の「明」という字体もある。窓から月光が差し込んで明るいという意味である。〕

メイは漢音、ミヨウは呉音である。この字はミンという唐音も使われている。〕